

年度	科目名	課題領域	単位数		
2024年度	外国につながる児童生徒の教育IV	多文化共生の実現・教師としての成長	1		
授業の目的	<p>1. 熊本の学校や地域における多文化共生の実態を通して、誰もが学びやすく居心地のよい学校にするための方策を考える。</p> <p>2. 本プログラム（外国につながる児童生徒の教育I～IV、教育実践研究（外国につながる児童生徒の教育））受講後の教育実践の展望についての発表・共有を通して、教師としての成長を考える。</p>				
学修目標 （目標とする資質・能力）	<p>1. 外国につながる児童生徒の立場を理解し、学校や地域にもたらす影響を多様性として肯定的に捉え、受け入れる側である学校や地域に働きかけたり、多文化共生を促したりする方法が理解できる。《変える／変わる力：ノ、ハ、ヒ》</p> <p>2. 子どもの言語や文化に興味を持ち、自身と異なる言語・文化に価値を見出すことができる。《変える／変わる力：ホ》</p> <p>3. 外国につながる児童生徒の教育を通して、教師としての自分自身のあり方や見方・考え方を批判的に問い直したり、教師としての成長として意味づけたりすることができる。《変える／変わる力：フ、マ》</p>				
各回の授業内容					
回	月日	時間帯	授業テーマ	内容概略	担当教員／ゲスト講師
1	3月1日 （土）	午前1 （90分）	学校と地域における多文化共生の課題	これまでの授業内容を踏まえ、学校と地域における多文化共生を実現する上での課題について考える。	八幡（谷口）彩子、山城千秋、藤中隆久（教育学研究科教授）ほか
2		午前2 （90分）	インクルーシブ教育と多文化共生（予定）	多文化共生の観点から、学校におけるインクルーシブ教育の潮流について考える。	未定（交渉中）
3		午後1 （90分）	夜間中学の取組と多文化共生（予定）	多文化共生の観点から、熊本における夜間中学の取組について考える。	未定（交渉中）
4		午後2 （90分）	教育の国際化と多文化共生（予定）	多文化共生の観点から、熊本における教育の国際化に向けた動きについて考える。	未定（交渉中）
5	3月15日 （土）	午前1 （90分）	地域社会における外国につながる児童生徒への支援（予定）	地域社会における外国につながる児童生徒への支援のあり方について考える。	未定（交渉中）
6		午前2 （90分）	外国につながる児童生徒の教育を充実させるためのネットワークづくり	外国につながる児童生徒の教育を充実させるためのネットワークをどのように構築したらよいかを考える。	八幡（谷口）彩子、山城千秋、藤中隆久（教育学研究科教授）ほか
7		午後1 （90分）	総括：本プログラム受講後の教育実践についての展望と教師としての成長	本プログラム（外国につながる児童生徒の教育I～IV、教育実践研究（外国につながる児童生徒の教育））受講後の教育実践の展望についての発表を通して、教師としての成長を考える。	
8		午後2 （90分）	閉講式		
履修条件		現職教員及び教員免許保有者（大学院生を含む）			
評価の方法		授業への参加、事後アンケート			
<p>表中の《変える／変わる力：ノ～マ》の記号は「豆の木モデル」において、外国人児童生徒等教育に携わる教師に「求められる具体的な力」に該当する。詳しくは、次の文献のpp.5-10を参照。公益社団法人日本語教育学会（2020）『外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修のための「モデルプログラム」ガイドブック』（<a href="https://mo-mo-pro.com/report">https://mo-mo-pro.com/report</a>）</p>					